

令和3年度 第1回学校評議員会会議録（報告）

記録者：総務課 谷藤 優衣

1 日時 令和3年6月24日（木）14：30～15：30

2 場所 大会議室

3 出席者 <評議員>

菊池 勝 様 （北上市議・ヤマコ総合事業（有）代表取締役） 欠席
澤藤 耕平 様 （退職校長会和賀会事務局長）
盛島 徹 様 （北上市立南中学校校長）
佐藤 純 様 （地域住民代表、相去地区自治協議会事務局次長）
小原 享子 様 （北上市議）

<学校>

校長 寒河江 和 広
副校長 菊池 淳
事務長 菊池 雄一
総務主任 及川 夕子
教務主任 佐藤 浩之
生徒指導主事 松原 啓之
進路指導主事 菅谷 誠 弥

4 次第（進行：副校長）

○開式のことば（副校長）

（1）校長挨拶

本日は、お忙しい中、皆様にご出席いただきましてありがとうございます。一名、急な用事で来られなくなりました。日頃本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

地域を担う皆様から、貴重なご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

（2）学校概況説明

ア 本校の様子

今年度は生徒555名、教員66名でスタートしました。部活動は任意加入ですが、518名（全体の93%）が加入しています。成果としては、新体操部が8月に新潟で行われるインターハイに出場予定で、鬼剣舞部は高総文祭に出場するとともに、地域伝統芸能奨励賞も受賞しました。

イ 学校経営計画について

（ア）校長

（学校経営計画の説明の後）

4月から自転車による交通事故や自損事故、それと盗難事案が発生している。

インクルーシブ教育の流れで、本校にも障害を持った生徒が入学している。理解と助け合いの精神で学校生活を送っている。進んでまいりたい。GIGA スクール構想に基づき、パソコン等の準備が進行中。エアコンは8月から設置予定のため、今年はクーレビズ等の対応をしていく。

（イ）副校長

新型コロナウイルスの感染拡大対応ということで、学校医の指導のもと、37.0°以上の発熱の生徒は

出席を控えてもらっている（欠席にしない）。また、同居家族が発熱の場合も同様。県外からの来客は校内に入れないなどの対応を行っている。少子高齢化の進展に伴い、過去2年間、1学級減となっている。令和2年度就職内定者の中には、障害者枠で内定を頂いた生徒もいるなど、手厚い指導を行った。部活動では、書道部が日本一の賞である文部科学大臣賞を受賞した。コロナ渦であっても変わらず結果を残している。しかし今後、生徒・職員数の減少に対応して英語インターアクト部が廃部になり、さらにいくつかの部を統合しなければいけないといった課題を抱えている。

※働き方改革については資料掲載

ウ 各分掌の取り組み方針および成果について（会議資料 p 6～12）

（ア）総務課

- ・PTA、学校行事はコロナ渦で出来る最大限で行っている。
- ・おやじの会は「そばうち体験」、母の会は「布草履作り」を考えている。そばうちはコロナのため、持ち帰りを予定している。

（イ）教務・情報課

- ・R4年度入学生の教育課程について検討中。
- ・昨年同様、体験入学はコロナ対策のため、午前と午後に分ける予定。
- ・一人一台端末が進み、一人ずつMicrosoftアカウントが与えられる予定。

（ウ）生徒指導課

昨年度も生徒指導事案は少なかった。

- ・コロナ対策を行いながら学校行事を充実させる
- ・交通安全に力を入れる
- ・いじめ防止に取り組む

以上の3点を重点的に取り組む。

（エ）進路指導課

- ・色々な進路が選択できるという理由で本校を選んでくる生徒が多い。
- ・コロナ渦であっても就職希望者は全員内定を頂いた。

（3）意見交換

澤藤耕平評議員より

- ・会議資料 p 9（教務・情報課 重点目標より） 学力向上・授業力向上、授業が「わかる」・「だいたいわかる」と答えた生徒の割合が高くて素晴らしい。日々の生徒たちの取り組みが素晴らしい。この結果を見ると、今年度目標の75%はやや低いのではないか。
- ・小学生、特に低学年に、発達障害の診断はされないが、落ち着きのない様子や友人関係のトラブルが最近が増えてきている。専門家も言っているが、入学前からテレビゲームやスマホを使って、親が子守りをしているため、忍耐強さがなく、薬を処方されている子どもが多い。
- ・入学当初、中学校との連携は？服薬などの情報提供はしているのか？

A. 校長

入学前に、中学校から詳しい情報ももらっており、職員会議で情報共有をしている。中学校での生徒ひとりひとりの情報に感謝している。

盛島徹評議員より

- ・本校から45名もありがとうございます。また、昨年度は数学の出前授業もありがとうございます。
- ・(要望) 総合学科がどういうものなのかが見たい。普段の授業など、こういうことをやっているというのが

分かれば、生徒に伝えられるので可能ならば見せていただきたい。

A. 校長

総合学科は外部には分かりづらい。コロナで学校への立ち入りが制限されているので、授業の動画等を撮って見せるなど、対応を考えたい。

- ・ 定時退庁日を設定したと言っていたが、実際何人の先生方が残って仕事をしていたのか？

A. 副校長

今週から始まったばかりの取組であり、まだ定着しておらず、いつもと変わらない状況であった。「か・えるの日」に習いつつ、毎週水曜日を声がけする日として設定したが、各自の都合にあわせ、それぞれ週に一回は定時退庁するように声がけをしている。

A. 校長

あいさつ運動などで早く来たら、早く帰って良いというように、職員の健康とワークライフバランスに配慮している。

佐藤純評議員より

- ・ 2月の評議員会も、オンラインなどで出来る限り開催してほしかった。

A. 副校長

評議員全員がオンラインに対応できるかどうかを確認し、今後は適切に対応したい。

- ・ 1. 2年生の欠席率が多いようだが、様子はどうか？

A. 副校長

定員割れで多様な生徒がいるため、通信制への転学が多い。1年生に特に多いが、1年生で頑張っても耐え切れず2年生で進路変更する生徒もいる。したがって、年次が上がるにつれて欠席率は必然的に下がる傾向にある。

A. 校長

1年生の段階での進路変更での進路変更が多い。1番の原因は、友人関係が上手くいかないことである。

- ・ 相去のふるさとまつり、毎年約3000人来る。鬼剣舞が見たかったという地域の人の声が多い。

A. 校長

色々なところで鬼剣舞をアピールしたい。若者のワクチン接種が進めば秋くらいには、場合によっては、どこかで披露することも顧問と検討したい。

小原享子評議員より

- ・ 生徒の活力に励まされている。
- ・ コロナ感染対策のため、県外の人が校内に入っていないことについて、県外の企業の情報収集や大学見学などはどのように対応しているのか？

A. 進路指導課長

県外就職希望者は10名ほど。実際に出願や大学試験などもwebやオンラインで行っている。実際に生徒がオープンキャンパスなどに参加できないことに関して苦慮している。県外に行き、戻ってきたら3日間は自宅で健康観察をするという対応を取っている。

- ・ GIGA スクール構想について。今年度の取り組みは？

A. 校長

Wi-Fi がやっと割り当てられ、学校での計画はこれから進めていく。新学習指導要領では、教科書のQRコードによって音声の流れたり、ビデオが流れたりする。どんどんGIGAになっている。こちらも勉強していかなければならない。

A. 盛島徹評議員

中学校ではタブレットの使用が始まった。授業では、タブレットを辞書として使ったり、社会の授業では地図を出したりして使っている。Youtubeなどはつながらないように設定されている。

(6) 諸連絡 (副校長)

佐藤 純評議員：連絡はメールでお願いしたい。もし、次回集まったの会議が難しいようなら ZOOM の開催を考えていただきたい。

澤藤耕平評議員：子どもの様子を見たいので、出来るだけ学校での開催をお願いしたい。

A. 校長

年に2回とは言わず、頻繁に学校に来ていただいて良い。

澤藤耕平評議員：1年更新で任期が2年だと、2年で終わってしまうのは過去の様子を知っている方がいないというのは残念。

A. 校長

次の方の推薦をお願いしたい。こういう方が良いという情報があればぜひお知らせいただきたい。

○閉式のことば (副校長)